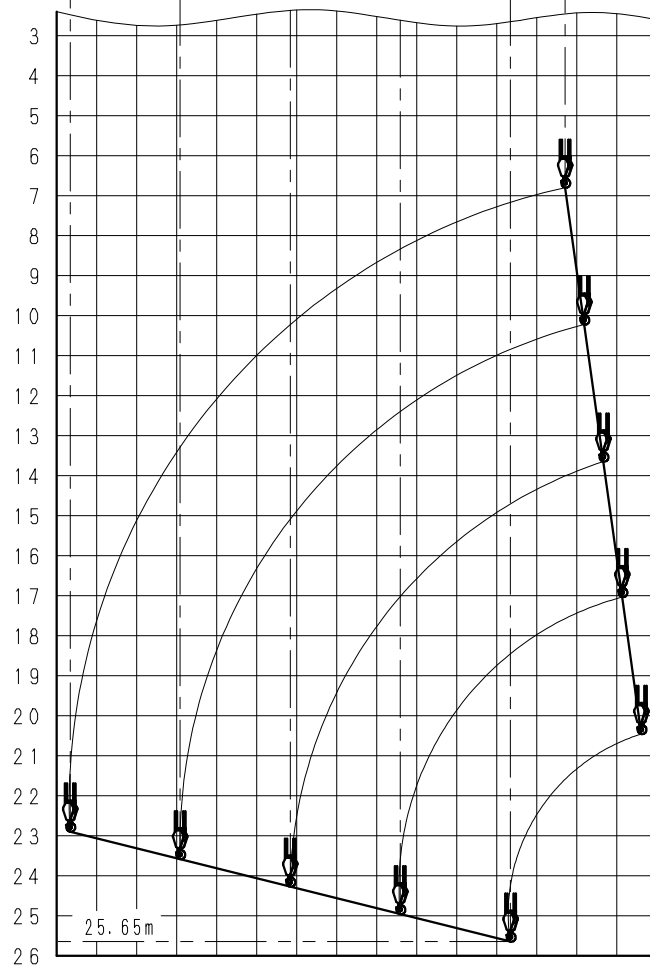
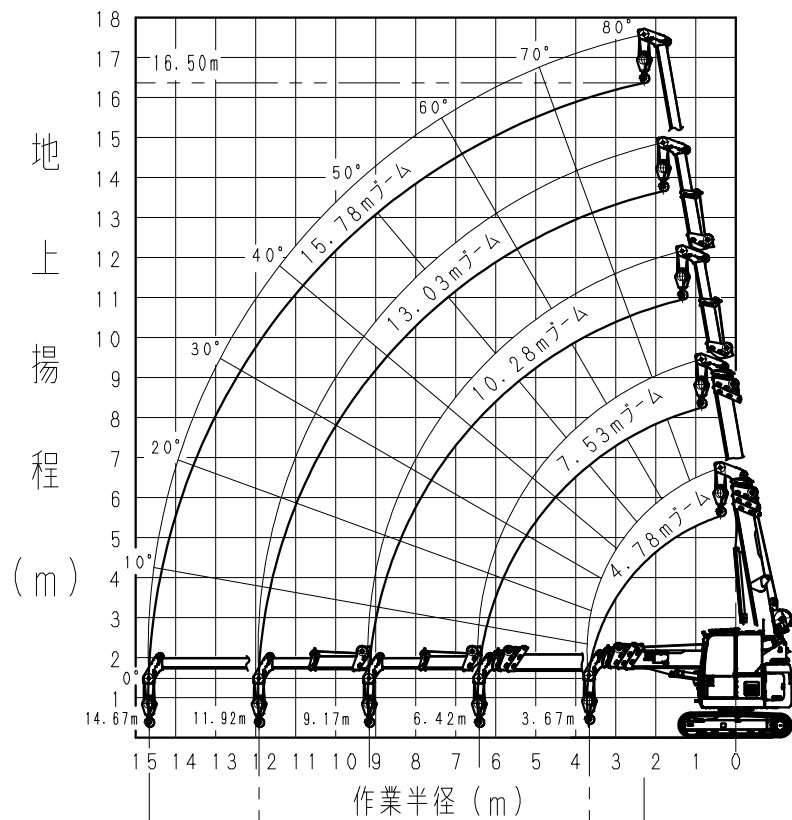
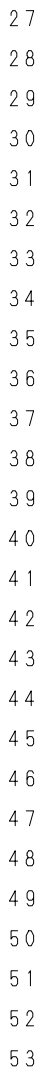


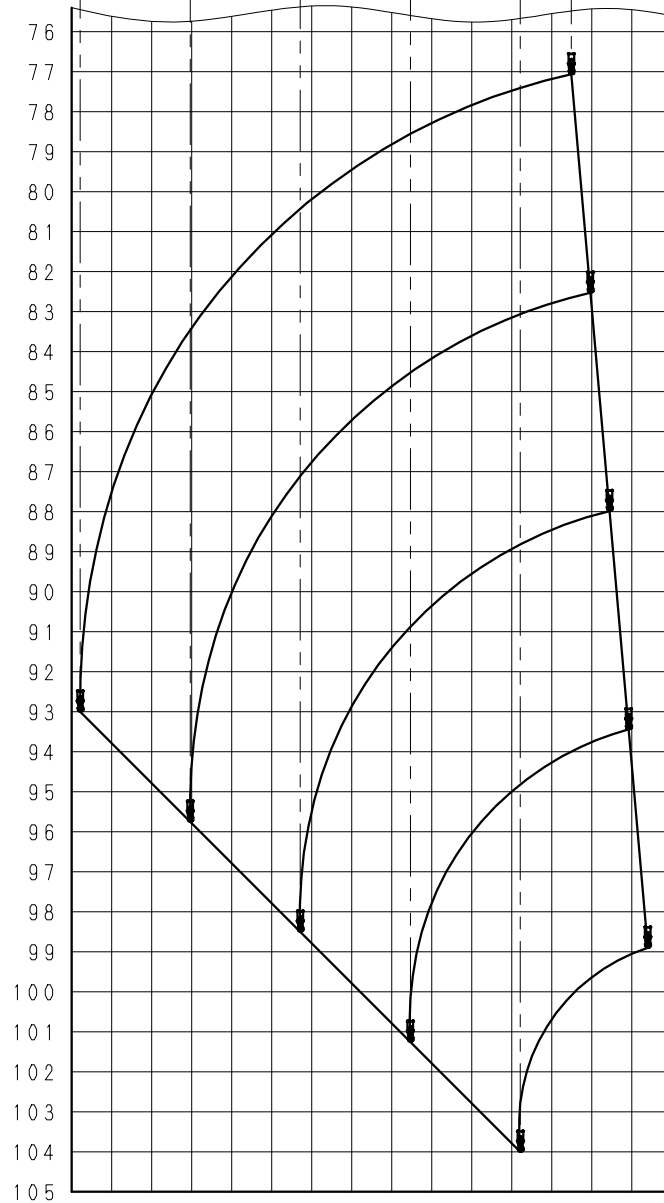
CC985S-1 作業半径揚程図 (4本掛け)



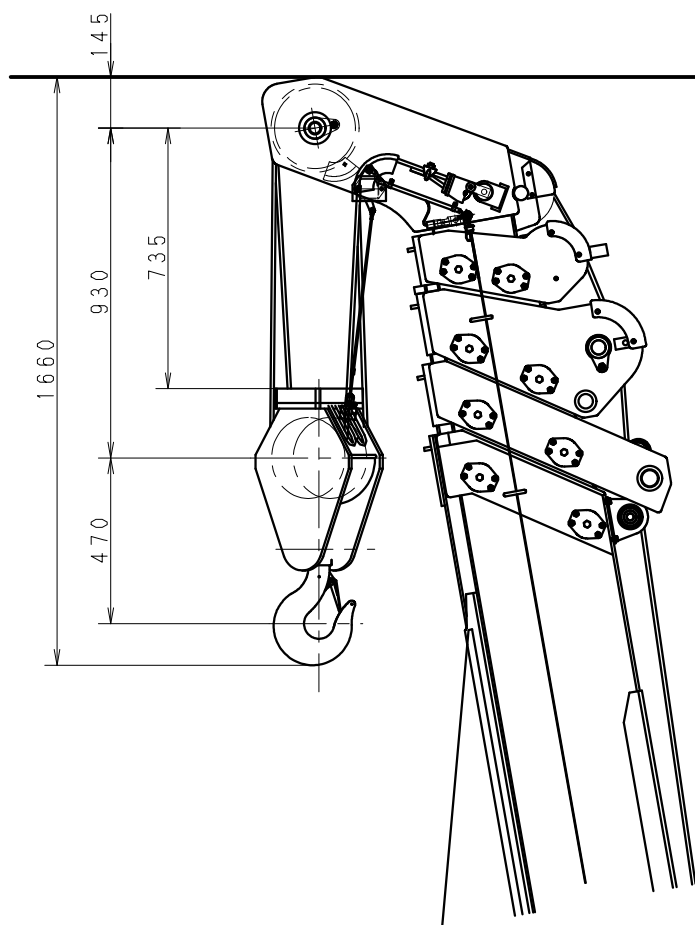
CC985S-1 作業半径揚程図 (2本掛け)



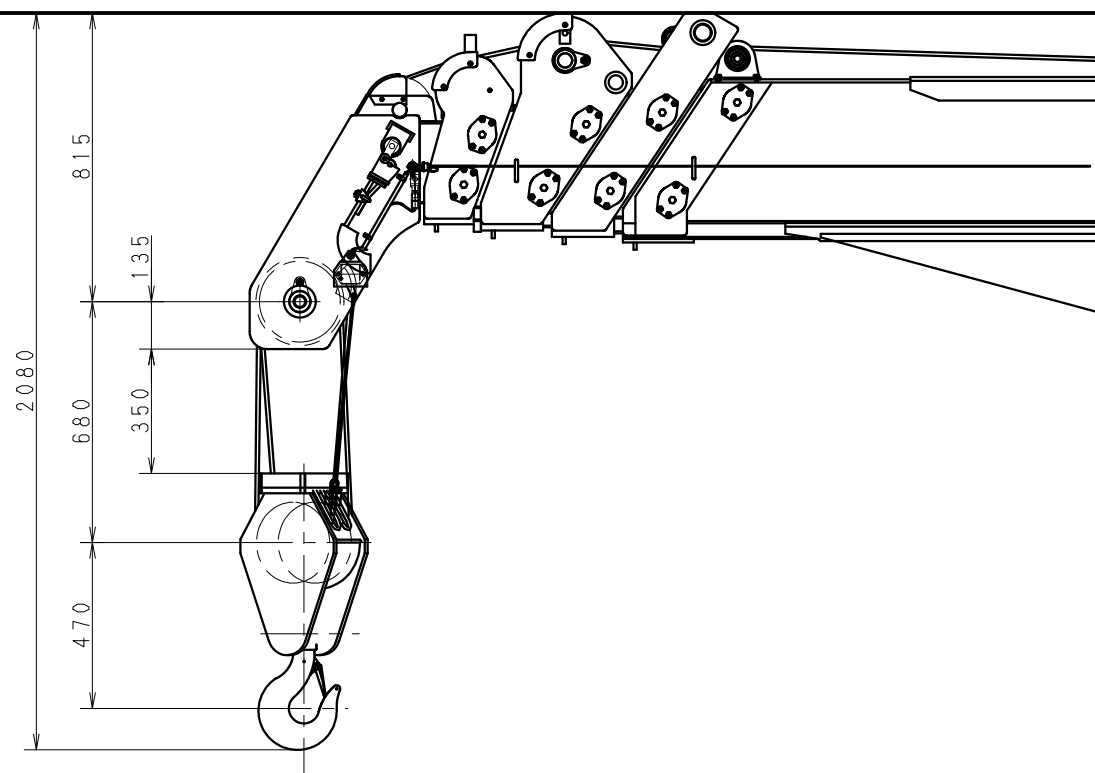
地上揚程 (m)



ブーム角度80°



ブーム角度0°



- ・フックブロックは巻過防止装置が停止するまで巻き上げた位置となります。
- ・寸法は個体差や停止状況などで変動しますので、本図の寸法はあくまで参考値となります。

5. 2 機械の吊り上げ方法

5. 2. 1 ブームを伏せた状態での吊り上げ方法

⚠ 危険

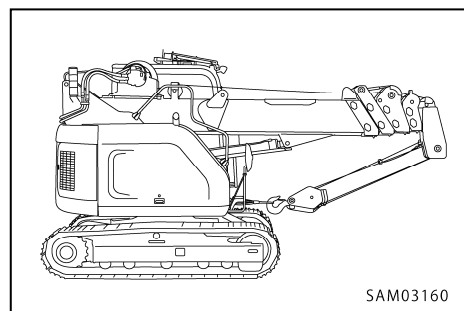
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
 - ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
 - ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
 - ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
 - ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
 - ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
 - ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
 - ・下記の手順で示す姿勢以外の姿勢および吊り具で機械を吊り上げないでください。
- 機械のバランス（釣り合い）をくずす危険があります。

アドバイス

- ・機械を吊り上げるときは、同じ規格のワイヤロープを4本、シャックルを4個を使用してください。また、機械を吊り上げる際は、玉掛け用ワイヤロープが機械本体に接触しないようにしてください。
 - ・ワイヤロープ： 破断荷重 18.7トン以上、JIS規格 6×37 B種 φ18×2.0m以上
 - ・シャックル： 使用荷重 7.0トン以上、JIS規格 SCシャックル 呼び34
- ・ブームを伏せた状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを格納用ロープに掛けてください。詳細は、「3. 22. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

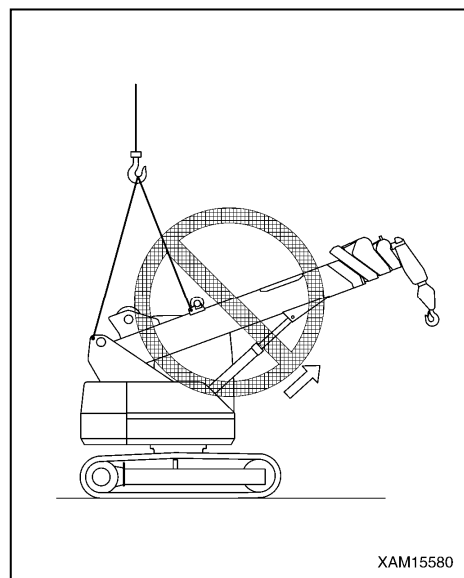
機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. 「3. 22. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照し、ブームを右図の姿勢にして、フックブロックとブームを車両本体に固定してください。

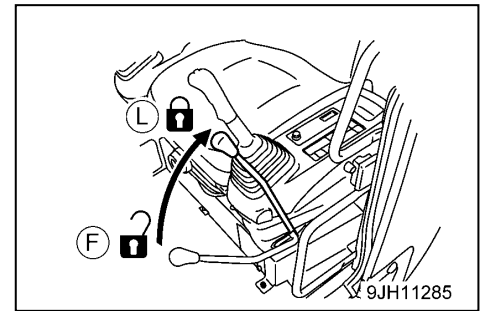


アドバイス

フックをブームの先端に格納した状態でつり上げると、車両の重みでブームが起きてしまい吊り上げられません。ブームを伏せた状態で吊り上げるときは、必ずフック掛けワイヤロープでフックとブームを車両本体に固定してください。



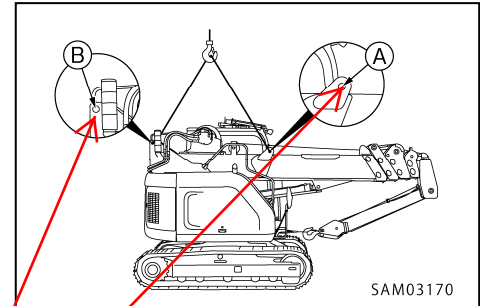
2. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
3. エンジンを停止し、スタータスイッチのキーを抜き取ってください。運転席回りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
4. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。
ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



5. クレーンブーム部の4箇所(A・B部)にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープのつり角度を60度以下にして、ゆっくりと吊り上げてください。

補足説明

- 吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。
- 起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- 機体を吊り上げると、後方に約2度、運転席側に約1度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



穴径：φ44

5. 2. 2 ブームでの吊り上げ方法

⚠ 危 険

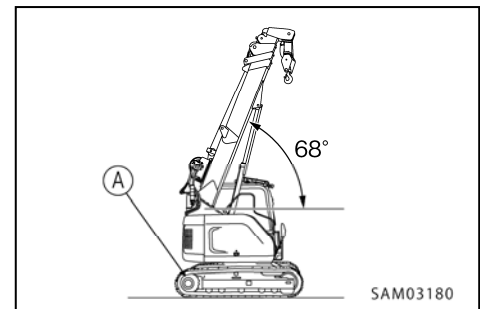
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・以下の手順で示す方法、吊り具の取付け位置（クレーンフレーム部左右2箇所のブラケット穴位置）以外で、絶対に機械を吊り上げてはいけません。やむを得ず、他の方法で機械を吊り上げる必要がある場合は、当社または当社販売サービス店に相談してください。

アドバイス

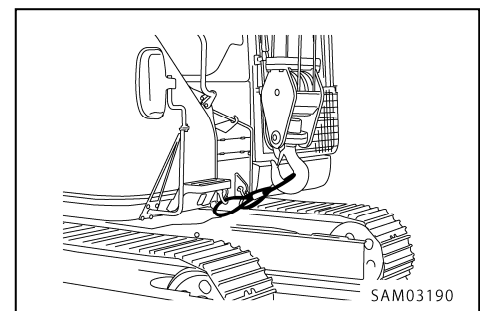
- ・機械を吊り上げるときは、同じ規格の玉掛け用ワイヤロープを2本、シャックルを2個使用してください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 36.0トン以上、JIS規格 6×37 B種 φ25×5.0m以上
 - ・シャックル：使用荷重 7.0トン以上、JIS規格 SCシャックル 呼び34
- ・ブームを起こした状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを格納用ロープに掛けてください。詳細は、「操作編 3. 22. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. ブームを全縮して68度まで起してください。

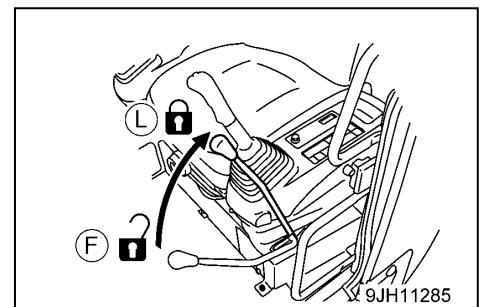


2. 「操作編 3. 22. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照して、フックブロックを格納用ロープに掛けてください。



3. スプロケット(A)が機械後方になるように、上部旋回体を旋回させてください。

4. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
5. エンジンを停止して、スタートスイッチのキーを抜き取ってください。運転席周りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
6. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。
ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



7. クレーンフレーム部の左右2箇所にはしゃくलを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。

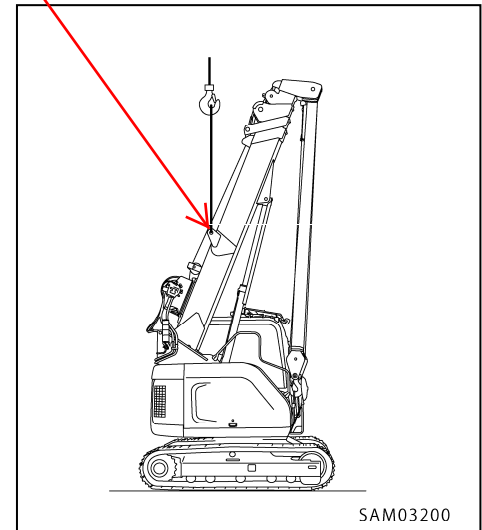
補足説明

この際、玉掛け用ワイヤロープと機体が接触する部分に当て物をしてから、吊り上げてください。

8. 機械をゆっくりと吊り上げてください。

補足説明

- ・吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。
- ・起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- ・機体を吊り上げると、後方に約2度、運転席側に約1度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



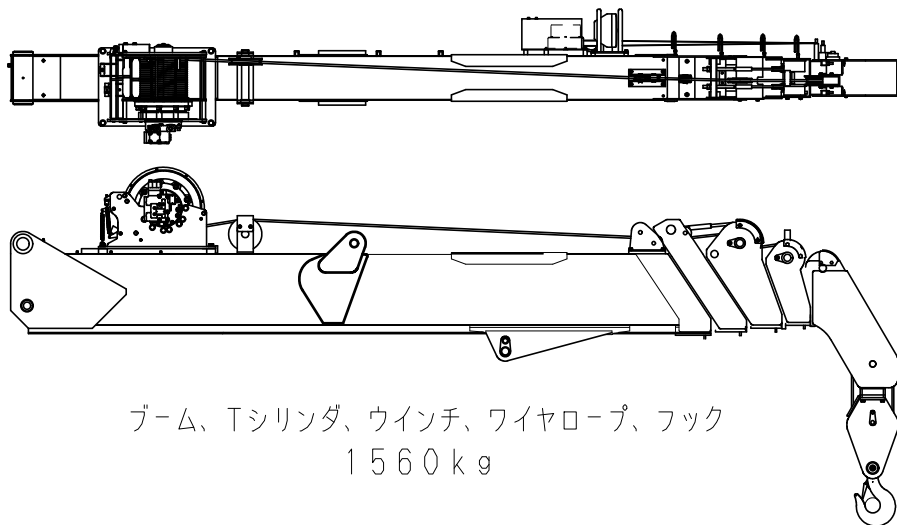
5.3 輸送時の注意

⚠ 警告

輸送時は、道幅・高さ・質量(重量)を考慮して決定してください。

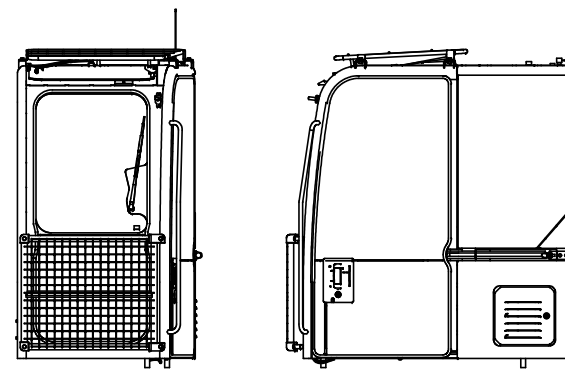
- ・輸送するときは、各関係法令を遵守して輸送してください。
 - ・道路交通法、道路法（車両制限令）、道路運送車両法（保安基準）、各地の条例等
- ・通行経路の道幅、橋桁、架線の高さ、重量制限および交通規制などについて事前調査を行い、トレーラなどで機械を輸送する場合、問題がないかを十分検討してください。
- ・場合により、関係官庁などの許可を得たり、分解して輸送するなどの対応が必要となることがあります。輸送業者に確認の上、輸送してください。
- ・分解輸送については、当社または当社販売サービス店に相談してください。

①



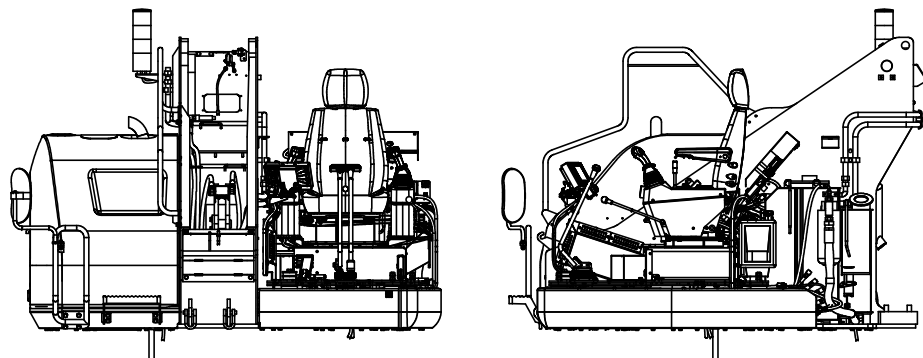
ブーム、Tシリンダ、ウインチ、ワイヤロープ、フック
1560kg

④



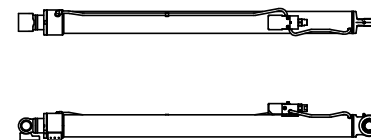
キャブ
300kg

②



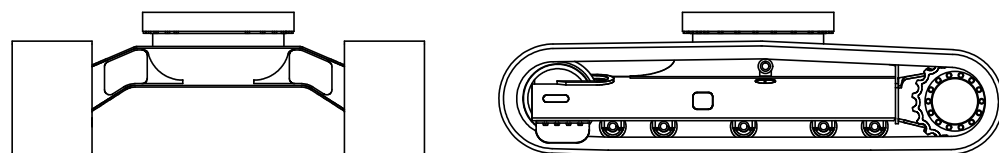
ポスト、レボフレーム、フロア、エンジン、燃料・作動油タンク、その他
2640kg

⑤



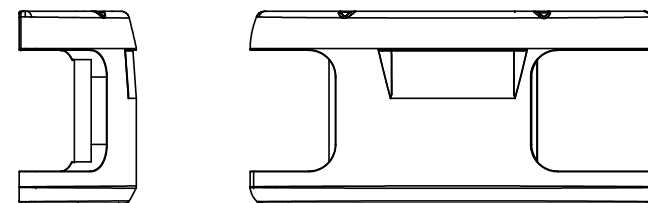
Dシリンダ
100kg

③



旋回モータ、スイングサークル、スイングマシナリ、トラックフレーム、トラックシュー
2260kg

⑥



カウンタウエイト
2520kg

機械総重量：9380kg

CC985S-1 分割重量

②と③の分割は大掛かりな作業となります。